

G3 のツイッター その4

烈剛河内 竹井 保満

私は、定年後、大阪府の老人大学にお世話になりました。沢山の選択科目がありました。陶芸、歴史、介護、ダンス、園芸、絵画などでしたが、私は、娘どもを美術大学に行かせた事もあって、絵の道具が沢山ありましたので、美術を習いました。老人大学を卒業しまして、2～3の美術教室で、洋画や日本画を習いました。以来二十六年になりますが、ハウツウの本や西洋や東洋の著名な画家の図鑑や高級な絵の具が増えるだけで、美意識がないのと腕が悪いので上達しません。

最近では、下手も絵の内では済まされず、今では市の協会のお世話を仰せつかっています。こんな集まりでは、スポーツ系は、私、一人が異色の存在なので、トレーニングや、フィットネスについてよく聞かれます。

先日の会合でも「一番必要な筋肉はどこですか」とのご質問をされました。

私は透かさず、それは「舌です」と、今あなたは私と舌を使って意思の疎通をしています。手や足が折れても生活は出来ますが、舌切り雀の様に舌を切られると、死に至る場合もありますよと。後は、各種講習会の先生方に教えられたこと、図鑑や本で得た軽薄な知識をひけらかし喋りすぎました。

以下は、お喋りの内容です。

『舌ほど素晴らしい機能を持った筋肉は他にはないのではないのでしょうか、心臓も瞬時も休まず生命を維持する筋肉の器官ですが、不随意筋なので勝手に動いてくれています。その点、随意筋の舌は、咀嚼や嚥下の手助け、味覚や細やかな触感、触覚、多様な発声や呼吸、数えれば限りがない程の働きをしてくれます。このように素晴らしい働きを一生してくれる舌は、感謝もされず、逆に、舌に関する諺や慣用句には良い言葉はあまり有りません。舌は脳から指令を受けて働いて呉れているだけなのに濡れ衣です。』

舌の根の乾かぬうちとか、舌の根は命を絶つとか、長い舌は短い手のしるし（大言を吐くものはいざとなると何も出来ない）とか、長舌三寸（表面では調子のいいことを言って陰で舌を出して笑うこと）とか、二枚舌（He speaks with forked tongue）英語の方が厳しいです。歯滅びて舌存す（固い歯は抜け落ちるが柔らかい舌は最後まで残る）とか、本当に筋肉は強いですよ。考えてみると舌はその人の人格を表すのでしょうか』

舌は日頃から私たちが鍛えている見かけの筋肉よりも表に出ます。慎重に言葉を選んで使わないと、地獄で鬼に罪もない舌を抜かれられないためにも。